

H27 港湾及び空港分野 II-I-2 栈橋構造の係留施設の上部工（鉄筋コンクリート）の健全度評価の方法を説明せよ。

1 基本的な考え方

健全度は、施設の安全性に及ぼす影響度を踏まえ、施設の総体的な老朽化状態（施設の性能低下の程度）を評価するもので、A、B、C及びなどのように段階をつけてで評価することを基本とする。

なお、簡易調査（簡易項目）で老朽化が無いと判定した場合、「すべて老朽化が認められない状態」として健全度を評価する。

2 施設の安全性に及ぼす影響度

施設の安全性に及ぼす影響度で区分分けをする。

その理由として、部材によっては、老朽化が進んだ状態であっても即座に施設そのものの性能低下に直結しない部材もある。このことから、部材の老朽化が施設の安全性能に関する影響の大きさを考慮し適切に区分分けする

3 健全度評価の実施単位

部工1スパン毎とする。以下、手順をフローで示す。

